

令和1年 6月 11日

お客さま各位

かながわ信用金庫
理事長 平松 廣司

平成31年3月期決算の概況について

平素から、かながわ信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

取り急ぎではございますが、平成31年3月期決算の概況をお知らせいたします。

なお、詳細な計数等につきましては、今後、ディスクロージャー誌や業務報告書などでご報告いたします。

かながわ信用金庫は、これからもお客さまへの感謝の気持ちを決して忘れることなく、さらに「強くてやさしい信用金庫」、「よろず相談承り信用金庫」になることを目指し、役職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、かながわ信用金庫をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

● 前期に引き続き増収増益、67期連続で黒字決算となりました。

当金庫の決算は、本業による利益である実質業務純益は1,828百万円、経常利益は1,121百万円を計上しました。特別損益や税金などを加減した最終的な当期純利益は929百万円を計上し、前期に引き続き増収増益、67期連続で黒字決算となりました。

	平成31年3月期	平成30年3月期	増減額(増減比)
実質業務純益	1,828百万円	1,640百万円	+188百万円(+11.46%)
経常利益	1,121百万円	498百万円	+622百万円(+124.83%)
当期純利益	929百万円	707百万円	+221百万円(+31.32%)

● 自己資本比率は7.22%となりました。

自己資本比率は、出資金・利益剰余金（毎年の利益の中から積み立てた内部留保）などの自己資本を貸出金などの資産に対してどのくらいの比率で保有しているかを示す計数で、金融機関の健全性を示す経営指標のひとつです。

国内のみで営業している信用金庫は4%以上を求められており、平成31年3月期の当金庫の自己資本比率はこの基準を3.22ポイント上回りました。

● 預金積金残高が519億円、貸出金残高が199億円増えました。

地域の多くのお客さまのご愛顧をいただき、預金積金残高は前期から519億円増加して10,896億円となりました。

地域のお客さまのご資金の需要にお応えし、貸出金残高は前期から199億円増加して5,365億円となりました。

	平成31年3月期	平成30年3月期	増減額(増減比)
預金積金残高	10,896億円	10,376億円	+519億円(+5.00%)
貸出金残高	5,365億円	5,165億円	+199億円(+3.86%)

お問い合わせは下記にて承ります。

かながわ信用金庫 経営企画部

〒238-0004 横須賀市小川町7番地

電話番号 046-826-1515

E-mail:kikaku@kanagawa-shinkin.co.jp

